

わかやま母親通信

生命を生み出す母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第65号 2018年8月1日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

2018/7/1(日)第63回和歌山県母親大会 in 日高川町を開催 HP:和歌山県母親大会

歴史を動かすのは、私たち一人ひとりの力です！

梅雨の晴れ間の蒸し暑い中、720名を超える参加者が集いました。

午前は17の分科会を設定しました。その内9分科会は現地実行委員会で企画され、その中の「親子リズム」と「科学工作遊び」の2分科会を合わせて、保護者に連れられた子どもが70名参加しにぎやかに活動しました。「ぬくもりのある介護施設をめざして」は45名もの参加者となり、「助言者の声が聞こえにくい。」との意見が出た時、「助言者がさっと立って、中央に来てくれて話の続きをしてくれたことに感激した。」との感想が寄せられていました。他にも、「ひきこもり」の分科会には34名、「人生を豊かに」には35名、「防災」には27名と、現地企画の分科会はいずれも盛会で活気があふれました。見学分科会「由良町の軍事戦跡めぐりから学ぼう」も定員の参加となり、「貴重な視察ができた。」との感想が聞かれました。「開催地となる地域の貴重な運動や特色を最大限生かせる大会に」と取り組んだことに確信を持つことが出来ました。

県企画の分科会では、「健康に生きるために-食-」に48名、「沖縄の現状を知ろう語ろう」に40名と詰めかけ、これらのテーマへの関心高さをうかがわせました。

午後の全体会は、美山太鼓とあすなる倶楽部・絆の星のダンスで盛り上げていただきました。日高川町長と教育長が来賓として出席されました。


--	--	--

美山太鼓保存会の
みなさん

あすなる倶楽部・絆の星の
みなさん

横山さゆり県実行委員長の
開会挨拶

横山さゆり県実行委員長は、開会挨拶の中で「歴史を動かすのは、私たち一人ひとりの力です。」と述べましたが、その後の各地の運動交流では、「9条改憲を許さない3000万署名活動」、若いママたちの平和を願う想いなど、文字通り未来を創る決意の発表が続きました。

		
<p>新しくできた非核自治体宣言(海南市 新婦人海草支部)</p>	<p>子どもたちに平和な未来を(西牟婁9条ママ net キュッと)</p>	<p>9条改憲NO!伊都・橋本市民アクションの取組み</p>
<p>平和を願う九条の会の取組み(日高町平和を願う九条の会)</p>	<p>「やった～目標 3000 筆を超えたよ」(新婦人南部準備支部)</p>	<p>巨大風力発電の建設計画について(紀美野町住民)</p>

記念トーク&コンサートでは、本職は大阪民主新報社記者であるKei Sugarさんの「多喜二へのレクイエム」など、素晴らしい歌詞と歌声に、会場中聴き入りました。参加感想文は、次ページに載せています。

さらに、「子ども医療費の拡充要請」署名、「日本国憲法が輝く政治を」のはがき行動の二つの提起をしました。

はがきは、安倍首相宛に送付しました。署名は、他団体でも取り組んでいただいていますので、8月末に集約をし、仁坂吉伸県知事へ提出します。同時に、9月県議会への請願書提出を準備しているところです。

「主権者は、私たちです。…声を挙げ行動の輪を広げていきましょう。だまされない。あきらめない。立ち止まらない。」

と決意を示した大会宣言を採択し、各地で要求運動をしていくことを確認しました。

日本国憲法が輝く政治を求めます

- 「8時間働けば普通に暮らせる社会に!」
- 「賭博はダメ!」
- 「9条を壊さないで!軍事基地はいりません!」
- 「憲法を遵守した政治(立憲主義)を!」
- 「社会保障の充実を!」
- 「国民のいのちとくらし、人権を守る政治を!」

これは、平和で安全なくらしと、子どもの健やかな育ちを望む多くの母親・女性の切なる願いです。私たちは、戦争する国づくり、憲法改悪には反対です。現憲法を尊重した民主政治を求めます。

2018年7月1日

第63回 和歌山県母親大会

全体会の感想から

トーク&コンサート

「平和への願いと生きる喜びを歌にたくして」

～歴史を変えるのは わたしたち～

講師 Kei Sugar 氏 (シンガー・ソングライター)



*美山太鼓、あすなろ倶楽部・絆の星の踊り、初めて聴き初めて見させてもらい、両方とも力強いメリハリのある音、動きに、うっとりとし見聞きさせていただきました。各地の運動交流も、「みんな、あちこちでがんばっているんだ。」と、刺激になり励まされもしました。

Kei Sugar さんの歌とピアノと語り、とても良かったです。深く広く響く声と力強い音がマッチして引き込まれました。また、語りの中で伝わってきたシュガーさんの生きざまも素晴らしいと思いました。

*今回、子どもと初めて参加しました。最初的美山太鼓とダンスも初めて観ました。迫力があって堂々としていて良かったです。

実行委員長さんのお話も、内容がとても分かり易く、他の方たちも地域のことを発表されていて、私自身、知らないこともあって「そうなのか…。」と思いました。どの地域でも、一生懸命活動されているんだなあと思いました。

子どもたちも、「楽しかった～♪」と言っていました。私も子育ての話が聴けて、改めて自分の子育てを考えられるいい機会でした。

毎日、仕事に子育てに家事に追われる日々ですが、子どもも大人も安心して暮らしていける社会になってほしいと思うし、子どものために9条は変えてはいけないと強く強く思います。戦争のことも正しい歴史を伝えていけたらいいなと思いました。一どんな嘘やごまかしも平気です。日いろんなことを考えさせられました。立ち止まって考えることが大事ですね。

*久しぶりの大会参加でした。

ケイ シュガーさんの歌を聴きたくてやってきました。一曲一曲、そのイメージを胸に、感動の連続でした。特に、ミッセル君のことを想像すると、涙が止まりませんでした。戦争のない、本当に平和な社会のために、みんなで力を合わせることの大切さを痛感しました。

“安倍政治は絶対に許さない”一政権の座に居続けるためには、どんな嘘やごまかしも平気です。それは選挙でしか終わらせることが出来ないと感じます。頑張ろう！

「^{いのち}生命を生みだす母親は ^{いのち}生命を育て ^{いのち}生命を守ることをのぞみます」

の一つの想いで結ばれて、母親大会は半世紀以上歩み続けてきました。

新憲法の下で、人間としての自由を得て女性の権利に目覚めた母親・女性たちは、全国各地で、「原水爆反対」の署名運動に立ち上がり、「核戦争から子どもを守ろう」と草の根の母親運動を広げました。和歌山県でも、毎年母親大会に集まり、願いと運動を交流し、学び合い、切実な要求を実現させてきました。

63回を迎えた今年、御坊市・日高郡内の全自治体と教育委員会をはじめ、和歌山県及びマスコミ九社から後援をいただき、和歌山県母親大会を開催しました。「時代に合った・時代に求められる母親大会」を模索しつつ、午前中は17の分科会で想いを語り合い願いを交流しました。現地の特色ある分科会がいくつもつくられ、貴重な学習や見学ができました。

午後の全体会では、素晴らしい歌声に包まれて、平和への願いと生きる喜びを再確認し、充電できる時間を過ごすことができました。

ちょうど一年前、被爆者の悲願であり日本国民の望みであった「核兵器禁止条約」が国連で採択され、地球上に希望の光が差しました。今も世界に紛争が絶えず、米朝間には核戦争の恐れさえありましたが、「会談」によって平和的な歩み寄りの方向が出てきたことは喜ばしいことです。

国家間のもめ事や利害対立は、粘り強い話し合いの積み重ねで理解と信頼を深め解決を図ることが何より重要です。それこそが、日本国憲法の理想であり九条の精神です。唯一の被爆国であり世界に先駆けて平和憲法をもつ国民として、私たちは、誇りと責任を自覚したいと思います。

けれども、現政権の政治も外交も、憲法の本質とは真逆の道に突き進んでいます。都合の悪いことには嘘やごまかし、隠ぺいを重ね、やりたいことは、数の暴挙で強行採決し続けています。もうこれ以上、憲法を踏みにじり民意を無視した暴走政治を許しておくことはできません。

主権者は、私たちです。世代を超え、地域を超えて結び合い、「戦争する国づくり」「民主主義の破壊」「民意軽視」は許さない、「平和外交を」「憲法を活かして国民のための政治を」と、声を挙げ行動の輪を広げていきましょう。

だまされない。あきらめない。立ち止まらない。

各地から、みんなの願いと運動を持ち寄り、また来年お会いしましょう。

2018年7月1日

第63回和歌山県母親大会